

2021年5月26日

各位

会社名 ミナトホールディングス株式会社
代表者 代表取締役会長兼社長 若山 健彦
(東証 JASDAQ コード: 6862)
問合せ先 取締役経営企画部門長 三宅 哲史
(TEL 03-5847-2030)

(再訂正・数値データ訂正)「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」 の一部訂正について

2021年5月12日に開示しました「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。(5月17日に開示しました「(訂正・数値データ訂正)「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について」もご参照ください。)

記

1. 訂正理由

「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後の有価証券報告書の作成過程におきまして、法人税、住民税及び事業税の算出方法に誤りが判明したため、同科目を148,962千円から112,633千円に訂正いたします。また連結貸借対照表及び連結キャッシュ・フロー計算書において記載内容の一部に訂正すべき事項が生じたので、訂正を行うものであります。

2. 訂正箇所

<サマリー情報>

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

- (1) 連結経営成績
- (2) 連結財政状態
- (3) 連結キャッシュ・フローの状況

2. 配当の状況

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

<添付資料>

1. 経営成績等の概況

- (1) 当期の経営成績の概況
- (2) 当期の財政状態の概況
- (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

3. 連結財務諸表及び主な注記

- (1) 連結貸借対照表
- (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

連結包括利益計算書

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等）

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（1株当たり情報）

3. 訂正内容

訂正箇所には下線を付して表示しております。

<サマリー情報>

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

【訂正前】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	15,920	31.8	220	△28.0	199	△33.7	<u>430</u>	<u>54.2</u>
2020年3月期	12,077	△23.8	305	28.8	301	55.7	279	164.0

(注) 包括利益 2021年3月期 371百万円 (△23.3%) 2020年3月期 483百万円 (368.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	<u>56.78</u>	<u>56.70</u>	<u>13.7</u>	1.9	1.4
2020年3月期	37.61	—	10.4	3.3	2.5

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 28百万円

【訂正後】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	15,920	31.8	220	△28.0	199	△33.7	<u>467</u>	<u>67.2</u>
2020年3月期	12,077	△23.8	305	28.8	301	55.7	279	164.0

(注) 包括利益 2021年3月期 407百万円 (△15.8%) 2020年3月期 483百万円 (368.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	<u>61.56</u>	<u>61.48</u>	<u>14.8</u>	1.9	1.4
2020年3月期	37.61	—	10.4	3.3	2.5

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 28百万円

(2) 連結財政状態

【訂正前】

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2021年3月期	百万円 12,625	百万円 3,483	% 26.8	円 銭 438.42
2020年3月期	8,485	3,000	34.3	394.74

(参考) 自己資本 2021年3月期 **3,386**百万円 2020年3月期 2,910百万円

【訂正後】

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2021年3月期	百万円 12,625	百万円 3,519	% 27.1	円 銭 443.12
2020年3月期	8,485	3,000	34.3	394.74

(参考) 自己資本 2021年3月期 **3,423**百万円 2020年3月期 2,910百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2021年3月期	百万円 329	百万円 △388	百万円 528	百万円 2,351
2020年3月期	709	63	△2,231	1,880

【訂正後】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2021年3月期	百万円 329	百万円 △418	百万円 528	百万円 2,321
2020年3月期	709	63	△2,231	1,880

2. 配当の状況

【訂正前】

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00	29	10.6	1.1
2021年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00	30	7.0	1.0
2022年3月期(予想)	—	—	—	—	—		—	

(注) 2022年3月期の配当予想は、現時点では未定であります。

【訂正後】

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00	29	10.6	1.1
2021年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00	30	6.5	1.0
2022年3月期(予想)	—	—	—	—	—		—	

(注) 2022年3月期の配当予想は、現時点では未定であります。

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

【訂正前】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	20,000	25.6	270	22.7	240	20.2	200	△53.6	25.89

【訂正後】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	20,000	25.6	270	22.7	240	20.2	200	△57.2	25.89

<添付資料> 2 ページ

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

【訂正前】

当連結会計年度（2020年4月1日～2021年3月31日）における我が国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響に伴い景気が急激に悪化する中、一部に持ち直しの動きも見られたものの、総じて予断を許さない厳しい状況が続きました。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、関係者の皆さま及び従業員の安全・健康確保を最優先に掲げ、感染症予防対策を実施しながら、「テクノロジー・イノベーションで明日を創る」ことを目指し、事業拡大に向けた積極的な企業活動を行いました。

また、当社はM&Aを通じた事業規模の拡大を成長戦略の大きな柱のひとつと位置付けており、当連結会計年度におきましては、以下の3社をグループに加えることが出来ました。

会社名	グループに加わった時期と主な事業
株式会社パイオニア・ソフト	・2020年8月に同社A種優先株式を取得 ・当社及び当社子会社株式会社イーアイティと資本業務提携契約を締結 ※2021年4月30日付で普通株式への転換完了、同日付で連結子会社化 ＜主な事業＞ 業務システムの受託開発
株式会社プリンストン	・2020年8月に全株式を取得し、子会社化（第3四半期連結会計期間より連結） ＜主な事業＞ テレビ・Web会議等のデジタル会議システム関連機器の販売及び保守サービス、 ライセンス販売等 eスポーツ関連製品、メモリー、PCやスマートフォン等デジタルデバイス周辺機器販売
株式会社アイティ・クラフト	・2021年2月に全株式を取得し、子会社化 ＜主な事業＞ システム構築、技術者派遣

事業概況といたしましては、既存事業の主要な市場におきまして、コロナ禍による影響を受けた顧客企業の計画見直しや営業・販売機会の減少等による受注件数の縮小傾向が続きました。一方で、2020年8月に子会社化した株式会社プリンストン（以下、「プリンストン」）が手掛ける事業領域では、テレワークの拡大を背景にテレビ・Web会議等のデジタル会議システムやその関連製品の需要が急増したほか、児童生徒1人に1台の端末と高速通信環境を整備する文部科学省の「GIGAスクール構想」に関連したデジタルデバイス周辺機器等の販売が好調に推移しました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績につきましては、売上高は15,920百万円（前年同期比31.8%増）と過去最高となりました。営業利益は220百万円（前年同期比28.0%減）、経常利益は199百万円（前年同期比33.7%減）と、対前年同期では減益となりましたが、いずれも計画を上回る実績を確保することが出来ました。また、技術力のあるベンチャービジネスへの投資として保有していた有価証券に係る売却益を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は430百万円（前年同期比54.2%増）と、30年ぶりの高い利益水準となりました。

セグメントごとの業績につきましては、次のとおりであります。

なお、第3四半期連結会計期間よりプリンストンの業績を連結損益計算書に含めたことに伴い、当社グループの事業活動の実態をより明確にするため、報告セグメントに「テレワークソリューション事業」と「デジタルデバイス周辺機器事業」を新たに追加しております。

【訂正後】

当連結会計年度（2020年4月1日～2021年3月31日）における我が国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響に伴い景気が急激に悪化する中、一部に持ち直しの動きも見られたものの、総じて予断を許さない厳しい状況が続きました。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、関係者の皆さま及び従業員の安全・健康確保を最優先に掲げ、感染症予防対策を実施しながら、「テクノロジー・イノベーションで明日を創る」ことを目指し、事業拡大に向けた積極的な企業活動を行いました。

また、当社はM&Aを通じた事業規模の拡大を成長戦略の大きな柱のひとつと位置付けており、当連結会計年度におきましては、以下の3社をグループに加えることが出来ました。

会社名	グループに加わった時期と主な事業
株式会社パイオニア・ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年8月に同社A種優先株式を取得 ・当社及び当社子会社株式会社イーアイティと資本業務提携契約を締結 ※2021年4月30日付で普通株式への転換完了、同日付で連結子会社化 <主な事業> 業務システムの受託開発
株式会社プリンストン	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年8月に全株式を取得し、子会社化（第3四半期連結会計期間より連結） <主な事業> テレビ・Web会議等のデジタル会議システム関連機器の販売及び保守サービス、ライセンス販売等 eスポーツ関連製品、メモリー、PCやスマートフォン等デジタルデバイス周辺機器販売
株式会社アイティ・クラフト	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年2月に全株式を取得し、子会社化 <主な事業> システム構築、技術者派遣

事業概況といたしましては、既存事業の主要な市場におきまして、コロナ禍による影響を受けた顧客企業の計画見直しや営業・販売機会の減少等による受注件数の縮小傾向が続きました。一方で、2020年8月に子会社化した株式会社プリンストン（以下、「プリンストン」）が手掛ける事業領域では、テレワークの拡大を背景にテレビ・Web会議等のデジタル会議システムやその関連製品の需要が急増したほか、児童生徒1人に1台の端末と高速通信環境を整備する文部科学省の「GIGAスクール構想」に関連したデジタルデバイス周辺機器等の販売が好調に推移しました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績につきましては、売上高は15,920百万円（前年同期比31.8%増）と過去最高となりました。営業利益は220百万円（前年同期比28.0%減）、経常利益は199百万円（前年同期比33.7%減）と、対前年同期では減益となりましたが、いずれも計画を上回る実績を確保することが出来ました。また、技術力のあるベンチャービジネスへの投資として保有していた有価証券に係る売却益を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は**467**百万円（前年同期比**67.2**%増）と、30年ぶりの高い利益水準となりました。

セグメントごとの業績につきましては、次のとおりであります。

なお、第3四半期連結会計期間よりプリンストンの業績を連結損益計算書に含めたことに伴い、当社グループの事業活動の実態をより明確にするため、報告セグメントに「テレワークソリューション事業」と「デジタルデバイス周辺機器事業」を新たに追加しております。

<添付資料> 5 ページ

(2) 当期の財政状態の概況

【訂正前】

(負債の部)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて**66.7%**増加し、**9,142**百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて**71.2%**増加し、**7,029**百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が322百万円、短期借入金が1,100百万円、一年内返済予定の長期借入金が300百万円、**前受収益が678**百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて53.1%増加し、2,113百万円となりました。これは、長期借入金が700百万円増加したことによるものです。

(純資産の部)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて**16.1%**増加し、**3,483**百万円となりました。これは、投資有価証券売却益などの要因もあり、親会社株主に帰属する当期純利益を**430**百万円計上したことなどによるものです。

【訂正後】

(負債の部)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて**66.0%**増加し、**9,105**百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて**70.4%**増加し、**6,992**百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が322百万円、短期借入金が1,100百万円、一年内返済予定の長期借入金が300百万円、**前受金が692**百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて53.1%増加し、2,113百万円となりました。これは、長期借入金が700百万円増加したことによるものです。

(純資産の部)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて**17.3%**増加し、**3,519**百万円となりました。これは、投資有価証券売却益などの要因もあり、親会社株主に帰属する当期純利益を**467**百万円計上したことなどによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

【訂正前】

当連結会計年度における現金及び現金同等物は**2,351**百万円と前年同期に比べて**470**百万円 (**25.0%**) の増加となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、**388**百万円の支出(前年同期63百万円の収入)となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入409百万円等の増加要因がありましたものの、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出**417**百万円、有形固定資産の取得による支出373百万円等の減少要因によるものです。

【訂正後】

当連結会計年度における現金及び現金同等物は**2,321**百万円と前年同期に比べて**440**百万円 (**23.4%**) の増加となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、**418**百万円の支出(前年同期63百万円の収入)となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入409百万円等の増加要因がありましたものの、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出**447**百万円、有形固定資産の取得による支出373百万円等の減少要因によるものです。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

【訂正前】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,102,088	1,424,638
1年内償還予定の社債	30,000	98,000
短期借入金	2,440,000	3,540,000
1年内返済予定の長期借入金	309,974	610,110
リース債務	7,340	4,612
未払金	101,929	391,497
前受収益	1,789	679,883
未払法人税等	54,788	107,333
製品保証引当金	689	302
賞与引当金	26,420	85,721
その他	29,718	87,018
流動負債合計	4,104,738	7,029,116
固定負債		
社債	45,000	109,000
長期借入金	1,071,432	1,772,281
リース債務	2,692	8,784
退職給付に係る負債	92,011	91,555
繰延税金負債	70,832	33,232
再評価に係る繰延税金負債	94,429	94,429
その他	3,922	3,866
固定負債合計	1,380,320	2,113,148
負債合計	5,485,059	9,142,265
純資産の部		
株主資本		
資本金	993,003	1,062,673
資本剰余金	1,376,532	1,457,017
利益剰余金	432,083	833,458
自己株式	△30,010	△41,943
株主資本合計	2,771,608	3,311,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216,645	153,034
土地再評価差額金	△73,981	△73,981
為替換算調整勘定	△3,720	△3,474
その他の包括利益累計額合計	138,943	75,578
新株予約権	89,478	88,650
非支配株主持分	—	7,741
純資産合計	3,000,030	3,483,176
負債純資産合計	8,485,089	12,625,441

【訂正後】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,102,088	1,424,638
1年内償還予定の社債	30,000	98,000
短期借入金	2,440,000	3,540,000
1年内返済予定の長期借入金	309,974	610,110
リース債務	7,340	4,612
未払金	101,929	391,497
前受金	1,789	693,870
未払法人税等	54,788	71,003
製品保証引当金	689	302
賞与引当金	26,420	85,721
その他	29,718	73,031
流動負債合計	4,104,738	6,992,787
固定負債		
社債	45,000	109,000
長期借入金	1,071,432	1,772,281
リース債務	2,692	8,784
退職給付に係る負債	92,011	91,555
繰延税金負債	70,832	33,232
再評価に係る繰延税金負債	94,429	94,429
その他	3,922	3,866
固定負債合計	1,380,320	2,113,148
負債合計	5,485,059	9,105,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	993,003	1,062,673
資本剰余金	1,376,532	1,457,017
利益剰余金	432,083	869,788
自己株式	△30,010	△41,943
株主資本合計	2,771,608	3,347,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216,645	153,034
土地再評価差額金	△73,981	△73,981
為替換算調整勘定	△3,720	△3,474
その他の包括利益累計額合計	138,943	75,578
新株予約権	89,478	88,650
非支配株主持分	—	7,741
純資産合計	3,000,030	3,519,505
負債純資産合計	8,485,089	12,625,441

<添付資料> 9 ページ

(1) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

【訂正前】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)
売上高	12,077,410	15,920,673
売上原価	10,414,128	13,254,106
売上総利益	1,663,281	2,666,567
販売費及び一般管理費	1,357,642	2,446,505
営業利益	305,638	220,062
営業外収益		
受取賃貸料	17,038	18,735
補助金収入	7,274	12,308
貸倒引当金戻入額	568	1,812
持分法による投資利益	28,690	—
その他	11,871	7,387
営業外収益合計	65,442	40,243
営業外費用		
支払利息	23,820	29,957
為替差損	34,541	9,671
その他	11,641	20,955
営業外費用合計	70,003	60,584
経常利益	301,078	199,721
特別利益		
投資有価証券売却益	—	382,541
関係会社株式売却益	45,905	—
その他	—	4,136
特別利益合計	45,905	386,677
特別損失		
固定資産除却損	690	1,722
投資有価証券評価損	2,288	16,400
特別損失合計	2,979	18,122
税金等調整前当期純利益	344,004	568,276
法人税、住民税及び事業税	86,484	148,962
法人税等調整額	△9,671	△15,269
法人税等合計	76,812	133,693
当期純利益	267,192	434,583
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△12,246	3,724
親会社株主に帰属する当期純利益	279,438	430,859

【訂正後】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)
売上高	12,077,410	15,920,673
売上原価	10,414,128	13,254,106
売上総利益	1,663,281	2,666,567
販売費及び一般管理費	1,357,642	2,446,505
営業利益	305,638	220,062
営業外収益		
受取賃貸料	17,038	18,735
補助金収入	7,274	12,308
貸倒引当金戻入額	568	1,812
持分法による投資利益	28,690	—
その他	11,871	7,387
営業外収益合計	65,442	40,243
営業外費用		
支払利息	23,820	29,957
為替差損	34,541	9,671
その他	11,641	20,955
営業外費用合計	70,003	60,584
経常利益	301,078	199,721
特別利益		
投資有価証券売却益	—	382,541
関係会社株式売却益	45,905	—
その他	—	4,136
特別利益合計	45,905	386,677
特別損失		
固定資産除却損	690	1,722
投資有価証券評価損	2,288	16,400
特別損失合計	2,979	18,122
税金等調整前当期純利益	344,004	568,276
法人税、住民税及び事業税	86,484	112,633
法人税等調整額	△9,671	△15,269
法人税等合計	76,812	97,363
当期純利益	267,192	470,912
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△12,246	3,724
親会社株主に帰属する当期純利益	279,438	467,188

<添付資料> 10 ページ

連結包括利益計算書

【訂正前】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)
当期純利益	267,192	434,583
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	218,385	△63,610
為替換算調整勘定	△1,594	246
その他の包括利益合計	216,790	△63,364
包括利益	483,982	371,219
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	496,228	367,494
非支配株主に係る包括利益	△12,246	3,724

【訂正後】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)
当期純利益	267,192	470,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	218,385	△63,610
為替換算調整勘定	△1,594	246
その他の包括利益合計	216,790	△63,364
包括利益	483,982	407,548
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	496,228	403,823
非支配株主に係る包括利益	△12,246	3,724

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

【訂正前】

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計
当期首残高	993,003	1,376,532	432,083	△30,010	2,771,608	216,645	△73,981	△3,720	138,943
当期変動額									
新株の発行	69,670	69,670			139,340				
剰余金の配当			△29,493		△29,493				
親会社株主に帰属する当期純利益			430,859		430,859				
自己株式の取得				△40,079	△40,079				
自己株式の処分		10,814		28,145	38,960				
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—				
連結範囲の変動			9		9				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△63,610		246	△63,364
当期変動額合計	69,670	80,484	401,375	△11,933	539,596	△63,610	—	246	△63,364
当期末残高	1,062,673	1,457,017	833,458	△41,943	3,311,205	153,034	△73,981	△3,474	75,578

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	89,478	—	3,000,030
当期変動額			
新株の発行			139,340
剰余金の配当			△29,493
親会社株主に帰属する当期純利益			430,859
自己株式の取得			△40,079
自己株式の処分			38,960
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動			—
連結範囲の変動			9
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△827	7,741	△56,450
当期変動額合計	△827	7,741	483,145
当期末残高	88,650	7,741	3,483,176

【訂正後】

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計
当期首残高	993,003	1,376,532	432,083	△30,010	2,771,608	216,645	△73,981	△3,720	138,943
当期変動額									
新株の発行	69,670	69,670			139,340				
剰余金の配当			△29,493		△29,493				
親会社株主に帰属する当期純利益			467,188		467,188				
自己株式の取得				△40,079	△40,079				
自己株式の処分		10,814		28,145	38,960				
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—				
連結範囲の変動			9		9				
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						△63,610		246	△63,364
当期変動額合計	69,670	80,484	437,704	△11,933	575,926	△63,610	—	246	△63,364
当期末残高	1,062,673	1,457,017	869,788	△41,943	3,347,534	153,034	△73,981	△3,474	75,578

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	89,478	—	3,000,030
当期変動額			
新株の発行			139,340
剰余金の配当			△29,493
親会社株主に帰属する当期純利益			467,188
自己株式の取得			△40,079
自己株式の処分			38,960
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動			—
連結範囲の変動			9
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△827	7,741	△56,450
当期変動額合計	△827	7,741	519,475
当期末残高	88,650	7,741	3,519,505

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	344,004	568,276
減価償却費	109,566	163,801
のれん償却額	37,800	52,558
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,059	△1,637
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△668	22,206
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△331	△387
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9,438	△456
受取利息及び受取配当金	△2,303	△2,173
支払利息	23,820	29,957
持分法による投資損益 (△は益)	△28,690	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,288	16,400
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△382,541
関係会社株式売却損益 (△は益)	△45,905	—
固定資産除却損	690	1,722
売上債権の増減額 (△は増加)	103,584	97,884
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△448,094	275,905
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	—	△153,256
仕入債務の増減額 (△は減少)	591,956	△171,501
その他	68,075	△3,457
小計	770,292	513,302
利息及び配当金の受取額	2,303	2,173
利息の支払額	△23,969	△30,968
法人税等の支払額	△38,896	△155,127
営業活動によるキャッシュ・フロー	709,729	329,379
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,500	△12,001
定期預金の払戻による収入	—	46,000
有形固定資産の取得による支出	△115,600	△373,094
無形固定資産の取得による支出	△15,050	△8,370
投資有価証券の取得による支出	△73,477	△83,864
投資有価証券の売却による収入	3,702	409,191
関係会社株式の取得による支出	△5,000	△1,000
関係会社株式の売却による収入	260,669	—
保険積立金の解約による収入	6,689	—
敷金及び保証金の回収による収入	20	3,333
敷金及び保証金の差入による支出	△1,625	△1,657
貸付金の回収による収入	416	59,415
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△417,662
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	15,484	—
その他	△298	△9,213
投資活動によるキャッシュ・フロー	63,429	△388,924

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,637,262	126,600
長期借入れによる収入	—	997,000
長期借入金の返済による支出	△478,658	△564,981
社債の償還による支出	△30,000	△88,000
リース債務の返済による支出	△7,721	△8,203
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	7,130
株式の発行による収入	—	128,845
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△26,139	—
自己株式の取得による支出	△49,989	△40,079
配当金の支払額	△14,889	△29,493
非支配株主からの払込みによる収入	15,000	—
非支配株主への配当金の支払額	△1,498	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,231,159	528,818
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,338	△9,671
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,459,339	459,602
現金及び現金同等物の期首残高	3,340,305	1,880,966
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	11,075
現金及び現金同等物の期末残高	1,880,966	2,351,643

【訂正後】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	344,004	568,276
減価償却費	109,566	163,666
のれん償却額	37,800	52,558
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,059	△1,637
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△668	22,206
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△331	△387
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9,438	△456
受取利息及び受取配当金	△2,303	△2,173
支払利息	23,820	29,957
持分法による投資損益 (△は益)	△28,690	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,288	16,400
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△382,541
関係会社株式売却損益 (△は益)	△45,905	—
固定資産除却損	690	1,722
売上債権の増減額 (△は増加)	103,584	97,884
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△448,094	275,905
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	—	△153,256
仕入債務の増減額 (△は減少)	591,956	△171,501
その他	68,075	△3,322
小計	770,292	513,302
利息及び配当金の受取額	2,303	2,173
利息の支払額	△23,969	△30,968
法人税等の支払額	△38,896	△155,127
営業活動によるキャッシュ・フロー	709,729	329,379
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,500	△12,001
定期預金の払戻による収入	—	46,000
有形固定資産の取得による支出	△115,600	△373,094
無形固定資産の取得による支出	△15,050	△8,370
投資有価証券の取得による支出	△73,477	△83,864
投資有価証券の売却による収入	3,702	409,191
関係会社株式の取得による支出	△5,000	△1,000
関係会社株式の売却による収入	260,669	—
保険積立金の解約による収入	6,689	—
敷金及び保証金の回収による収入	20	3,333
敷金及び保証金の差入による支出	△1,625	△1,657
貸付金の回収による収入	416	59,415
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△447,662
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	15,484	—
その他	△298	△9,213
投資活動によるキャッシュ・フロー	63,429	△418,924

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月 31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,637,262	126,600
長期借入れによる収入	—	997,000
長期借入金の返済による支出	△478,658	△564,981
社債の償還による支出	△30,000	△88,000
リース債務の返済による支出	△7,721	△8,203
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	7,130
株式の発行による収入	—	128,845
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△26,139	—
自己株式の取得による支出	△49,989	△40,079
配当金の支払額	△14,889	△29,493
非支配株主からの払込みによる収入	15,000	—
非支配株主への配当金の支払額	△1,498	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,231,159	528,818
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,338	△9,671
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,459,339	429,602
現金及び現金同等物の期首残高	3,340,305	1,880,966
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	11,075
現金及び現金同等物の期末残高	1,880,966	2,321,643

<添付資料> 17 ページ

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

【訂正前】

	報告セグメント					計
	メモリーモジュール事業	テレワークソリューション事業	デジタルデバイス周辺機器事業	デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション事業	システム開発事業	
売上高						
外部顧客への売上高	9,051,189	2,103,011	3,072,085	923,600	567,069	15,716,956
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,463	627	30,316	136	4,232	56,775
計	9,072,653	2,103,639	3,102,401	923,736	571,301	15,773,732
セグメント利益又は損失(△)	446,652	115,231	85,162	△61,640	58,721	644,127
セグメント資産	4,682,185	1,780,847	2,454,637	1,402,990	214,652	10,535,312
セグメント負債	657,176	929,672	1,371,491	78,330	137,297	3,173,967
その他の項目						
減価償却費	11,841	8,391	12,379	86,423	2,779	121,816
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	700	5,182	7,645	282,104	792	296,425

(単位：千円)

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	連結財務諸表額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	203,716	15,920,673	—	15,920,673
セグメント間の内部売上高又は振替高	51,068	107,844	△107,844	—
計	254,785	16,028,517	△107,844	15,920,673
セグメント利益又は損失(△)	599	644,727	△424,665	220,062
セグメント資産	744,243	11,279,555	1,345,885	12,625,441
セグメント負債	112,263	3,286,231	5,856,034	9,142,265
その他の項目				
減価償却費	21,887	143,704	19,962	163,666
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	12,795	309,221	81,587	390,808

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ウェブサイト構築等の関連事業や環境エレクトロニクス事業、インテリジェント・ステレオカメラ事業・モバイルアクセサリ事業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額△424,665千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

- (2) セグメント資産の調整額1,345,885千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。その主なものは、報告セグメントに帰属しない建物及び土地であります。
- (3) セグメント負債の調整額**5,856,034**千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であります。その主なものは、報告セグメントに帰属しない短期及び長期借入金であります。
- (4) 減価償却費の調整額19,962千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産による減価償却費であります。その主なものは、報告セグメントに帰属しない建物による減価償却費であります。
- (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額81,587千円は、主に管理部門で使用する建物及び土地の取得費であります。
3. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【訂正後】

	報告セグメント					計
	メモリーモジュール事業	テレワークソリューション事業	デジタルデバイス周辺機器事業	デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション事業	システム開発事業	
売上高						
外部顧客への売上高	9,051,189	2,103,011	3,072,085	923,600	567,069	15,716,956
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,463	627	30,316	136	4,232	56,775
計	9,072,653	2,103,639	3,102,401	923,736	571,301	15,773,732
セグメント利益又は損失(△)	446,652	115,231	85,162	△61,640	58,721	644,127
セグメント資産	4,682,185	1,780,847	2,454,637	1,402,990	214,652	10,535,312
セグメント負債	657,176	929,672	1,371,491	78,330	137,297	3,173,967
その他の項目						
減価償却費	11,841	8,391	12,379	86,423	2,779	121,816
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	700	5,182	7,645	282,104	792	296,425

(単位：千円)

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	連結財務諸表額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	203,716	15,920,673	—	15,920,673
セグメント間の内部売上高又は振替高	51,068	107,844	△107,844	—
計	254,785	16,028,517	△107,844	15,920,673
セグメント利益又は損失(△)	599	644,727	△424,665	220,062
セグメント資産	744,243	11,279,555	1,345,885	12,625,441
セグメント負債	112,263	3,286,231	5,819,704	9,105,936
その他の項目				
減価償却費	21,887	143,704	19,962	163,666
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	12,795	309,221	81,587	390,808

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ウェブサイト構築等の関連事業や環境エレクトロニクス事業、インテリジェント・ステレオカメラ事業・モバイルアクセサリ事業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△424,665千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告

セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

- (2) セグメント資産の調整額1,345,885千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。その主なものは、報告セグメントに帰属しない建物及び土地であります。
- (3) セグメント負債の調整額**5,819,704**千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であります。その主なものは、報告セグメントに帰属しない短期及び長期借入金であります。
- (4) 減価償却費の調整額19,962千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産による減価償却費であります。その主なものは、報告セグメントに帰属しない建物による減価償却費であります。
- (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額81,587千円は、主に管理部門で使用する建物及び土地の取得費であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

<添付資料> 20 ページ

(1株当たり情報)

【訂正前】

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	394.74円	438.42 円
1株当たり当期純利益	37.61円	56.78 円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	56.70 円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	279,438	430,859
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	279,438	430,859
普通株式の期中平均株式数(株)	7,430,643	7,588,653
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	10,891
(うち新株予約権(株))	—	10,891
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	会社法第236条、第238条及び第239条の規定に基づく新株予約権(新株予約権の数4,366個、目的となる株式の数721,900株)	会社法第236条、第238条及び第239条の規定に基づく新株予約権(新株予約権の数2,550個、目的となる株式の数510,000株)

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,000,030	3,483,176
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	89,478	96,392
(うち新株予約権(千円))	(89,478)	(88,650)
(うち非支配株主持分(千円))	(—)	(7,741)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,910,552	3,386,784
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	7,373,370	7,724,950

【訂正後】

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	394.74円	443.12円
1株当たり当期純利益	37.61円	61.56円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	61.48円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	279,438	467,188
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	279,438	467,188
普通株式の期中平均株式数(株)	7,430,643	7,588,653
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	10,891
(うち新株予約権(株))	—	10,891
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	会社法第236条、第238条及び第239条の規定に基づく新株予約権(新株予約権の数4,366個、目的となる株式の数721,900株)	会社法第236条、第238条及び第239条の規定に基づく新株予約権(新株予約権の数2,550個、目的となる株式の数510,000株)

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,000,030	<u>3,519,505</u>
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	89,478	96,392
(うち新株予約権(千円))	(89,478)	(88,650)
(うち非支配株主持分(千円))	(—)	(7,741)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,910,552	<u>3,423,113</u>
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	7,373,370	7,724,950

以上